

# DISCLOSURE

## 2019.12

2019年度第3四半期(2019年4月1日～12月31日)における経営情報を開示します

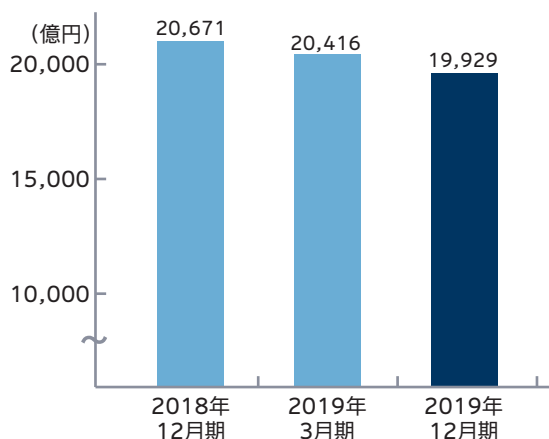
(注)この四半期ディスクロージャーは、当金庫が自主的に開示するものです。計数については、会計監査人による監査を受けていません。数値は原則単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、項目ごとの合計の数値が一致しない場合があります。なお本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

西武信用金庫

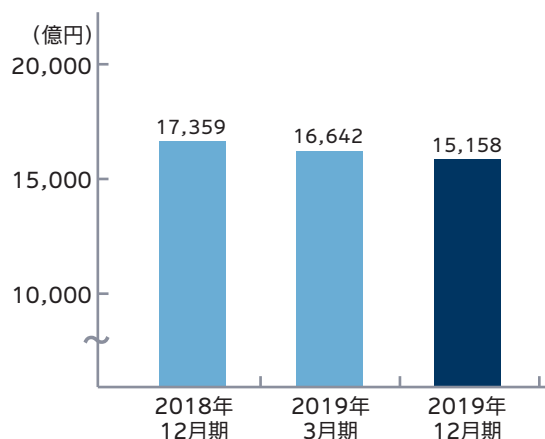
## 預金・貸出金の状況

預金残高は1兆9,929億円、貸出金残高は1兆5,158億円となりました。

### ●預金残高 1兆9,929億円



### ●貸出金残高 1兆5,158億円



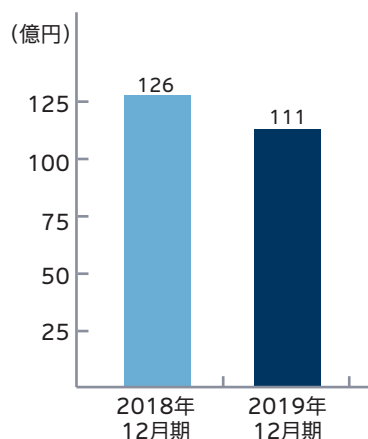
(単位:億円)

	2018年12月期	2019年3月期	2019年12月期	前年同期比
預金残高	20,671	20,416	19,929	△741
貸出金残高	17,359	16,642	15,158	△2,200
預貸率	83.97%	81.51%	76.06%	△7.91ポイント

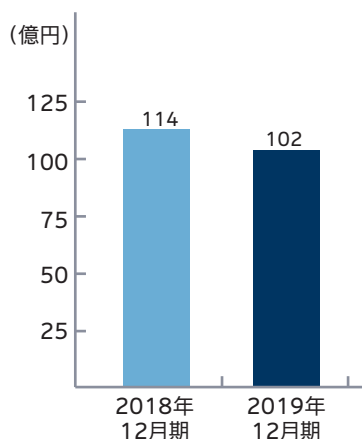
## 損益の状況

コア業務純益は111億円、経常利益は102億円、当期純利益は70億円を計上しました。

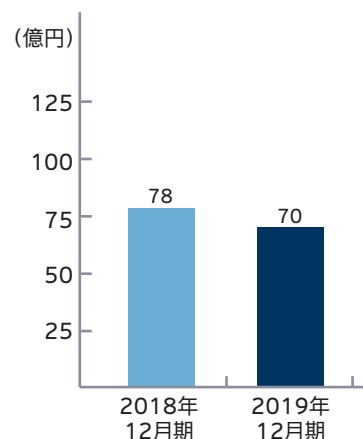
### ●コア業務純益 111億円



### ●経常利益 102億円



### ●当期純利益 70億円



(単位:億円)

	2018年12月期	2019年12月期	前年同期比
コア業務純益	126	111	△15
コア業務純益 (除く投信解約損益)	126	110	△16
経常利益	114	102	△12
当期純利益	78	70	△8

### コア業務純益とは？

業務純益から一時的な変動要因(一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益)を除いたもの。貸出業務など金融機関の本来の収益力を表します。なお、コア業務純益(除く投信解約損益)は、コア業務純益から投資信託解約損益を除いたもので、金融機関の収益力をより厳密に示すものです。

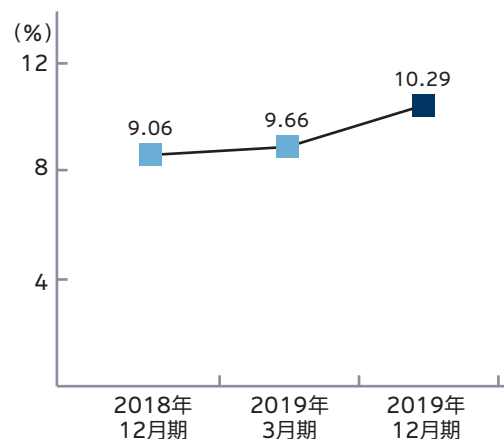
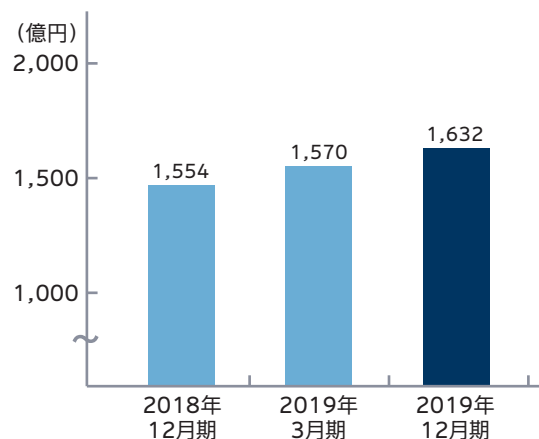
## 自己資本の状況

(国内基準)

自己資本の額は、利益等の積み上げにより前年同期比で77億円増加し1,632億円となりました。自己資本比率は、前年同期比で1.23ポイント上昇し10.29%と金融機関の健全性を示す国内基準4%を大きく上回っています。

## ●自己資本の額 1,632億円

## ●自己資本比率 10.29%



(単位:億円)

	2018年12月期	2019年3月期	2019年12月期	前年同期比
自己資本の額	1,554	1,570	1,632	77
自己資本比率	9.06%	9.66%	10.29%	1.23ポイント

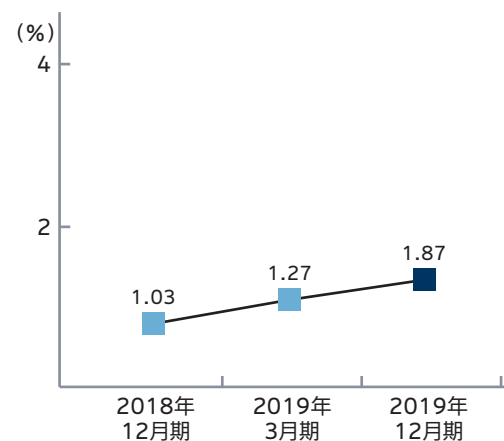
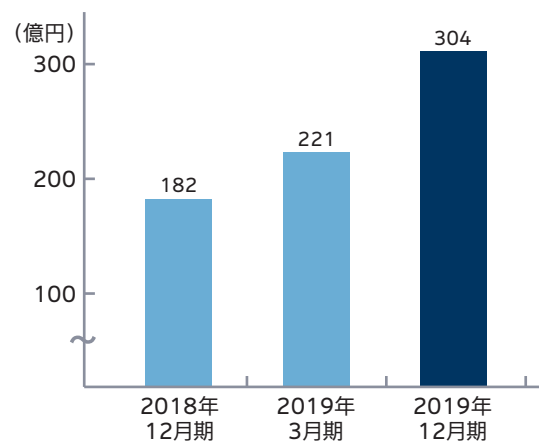
## 不良債権の状況

(金融再生法開示債権)

不良債権残高は304億円、不良債権比率は1.87%となりました。

## ●不良債権額 304億円

## ●不良債権比率 1.87%



(単位:億円)

	2018年12月期	2019年3月期	2019年12月期	前年同期比
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	34	24	49	14
危険債権	138	187	247	109
要管理債権	9	9	7	△1
不良債権合計	182	221	304	122
不良債権比率	1.03%	1.27%	1.87%	0.84ポイント

## 有価証券の評価損益

有価証券の評価損益は、前年同期比で29億円増加しました。

(単位:億円)

	2018年12月期		2019年3月期		2019年12月期		前年同期比	
	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益	時価	評価損益
株式	41	0	40	3	41	8	0	8
債券	320	2	297	2	221	1	△99	△1
その他	645	△15	556	6	531	6	△113	22
合計	1,006	△11	893	12	795	17	△211	29

(注) その他＝投資信託・優先出資・外国証券・投資事業有限責任組合契約等への出資・買入金銭債権